

# 可決された案件 (要旨)

◎全員賛成 ◇賛成多数

## ◎福生市新型インフルエンザ等対策本部条例

新型インフルエンザ等対策特別措置法の施行に伴い、新型インフルエンザ等緊急事態宣言がされた場合に、市長が設置する福生市新型インフルエンザ等対策本部に必要事項を定めようとするもので、対策本部条例は安全安心まちづくり課が、行動計画作成は健康課が担当する。

## ◎福生市子ども・子育て審議会条例

福生市次世代育成支援行動計画が平成26年度に期間満了を迎えることから、昨年8月の子ども・子育て支援法の施行に伴い、子どもに関する施策について調査、審議する機関を設置しようとするもの。

## ▽平成25年度福生市一般会計補正予算(第1号)

市内小・中学校が東京都の委託事業の推進に指定されたこと、町会等会館建設費補助金に対して助成金が交付される見込みとなっ

たことなどに伴い、既

決予算の総額に歳入歳出それぞれ4633万1千円を追加し、総額を217億7633万1千円と定めようとするもの。歳入のうち、都補助金2500万8千円は、高齢者の振り込み詐欺被害防止対策及び悪質商法詐欺被害防止対策事業に対する交付金、ガードレール改良工事に対し交付される土木補助事業補助金等で、雑入1538万2千円は、町会等会館建設費に対するコミユニティ助成事業助成金等である。歳出のうち、消費者啓発事業委託料2193万4千円は振り込み詐欺等の消費者啓発に、市道改良事業費の工事請負費2400万円は市道138号線の改良工事に充てるもの。

## ◎福生市表彰条例に基づく自治功労表彰について

教育委員会委員として12年の長きにわたり市の発展に貢献された長谷川貞夫氏を自治功労表彰するもの。

## ◎福生市表彰条例に基づく自治功労表彰について

選挙管理委員会委員として12年の長きにわたり市の発展に貢献された細谷弘一氏を自治功労表彰するもの。



▲福生市表彰式で表彰された方々

## ◎福生市表彰条例に基づく一般表彰について

町会長等として多年にわたり市の行政に貢献された石川豪一氏、笹本勇司氏、社会教育委員として多年にわたり市の行政に貢献された日野さよ子氏、学校医として多年にわたり市の行政に貢献された波多野元久氏、学校歯科医として多年にわたり市の行政に貢献され

## ◎市道路線の廃止について

市道第1023号線は現在、一般交通の用に供されておらず市道

た河野紹芳氏、防災会

議委員として多年にわたり市の行政に貢献された宮川榮次氏、交通安全推進委員会委員として多年にわたり市の行政に貢献された乙津慎一氏、明るい選挙推進委員として多年にわたり市の行政に貢献された今野多美子氏、保護司として多年にわたり市の行政に貢献された島田晏治氏、公民館運営審議会委員及び青少年問題協議会委員として多年にわたり市の行政に貢献された高水清安氏、消防団員として多年にわたり市の行政に貢献された、現在もなお御活躍の高野恒行氏、降駒春徳氏、久下和春氏を一般表彰するもの。

として管理する必要がないことから、隣接地所有者からの申し出を受け、全部廃止して払い下げ及び市道部分に存する隣地土地所有者の土地と交換をするもの。

## 陳情

今定例会の各委員会で審査された結果、不採択となった陳情は次のとおりです。

### ◆不採択

○行政手続条例と契約事務規則の関係説明を求める陳情書(25・4号)

(不採択理由)

用語の定義上の解釈の問題であり、判例も示されているため、議会で審査する内容ではなく、意に沿いがたい。

○「議員の紹介」の解明を求める陳情書(25・5号)

(不採択理由)

議員の紹介がなくても、陳情書として取り扱い、請願書と同様に審査をしており、意に添いがたい。

○昭和39年最高裁判例の誤読と準備行為論の克服を求める請願書(本件は、紹介議員がいなかったため、福生市議会会議規則第144条の規定により、陳情書としての取り扱いとする。)(25・6号)

(不採択理由)

判例については、変更を求めることは、司法の問題であり、議会で審査する内容ではなく、意に沿いがたい。

## 討論

### ●平成25年度福生市一般会計補正予算(第1号)

■反対

今回の補正予算に含まれる生活保護システム改良委託料は、生活扶助基準の引き下げを実行するものである。これは、生活保護家庭、特に、子育て世代を直撃する。食生活の質の低下、健康や発達への深刻な影響も危惧される。さらに、生活扶助基準の引き下げは、福生市においても、就学援助や保育料など、54件もの施策の引き下げにつながり、生活保護家庭ばかりでなく、低所得層全般に影響するものである。アベノミクスの下で、大企業が260兆円もの内部留保金を蓄積する一方、年収200万円以下のワーキングプア(働く貧困層)が1100万人にも達している。国民の所得を奪う政治から、国民の所得を増やす政治へ、国の所得を増やす政治へ、新規事業展開のための予算、振り込み詐欺被害ゼロを目指して全ての高齢者宅を訪問して啓発を進めると必要かつ重要な予算が計上されている。そして、生活保護システム改良委託料は、国の社会保障審議会生活扶助基準部会において生活扶助基準の検証がなされ、基準の見直しとなったことに伴うものであり、賛成する。

### ■賛成

今回の補正予算は、国道16号の工事に伴う迂回車の往来から市民の安全を確保するための市道改良事業の予算、消防団に対する編み上げ靴や救助用具等の予算、子ども・子育て3法案に伴う新制度の実施に向けたニーズ調査のための予算、ふっさ子未来会議にかかわる事務費、都の教育委託金を活用しての新規事業展開のための予算、振り込み詐欺被害ゼロを目指して全ての高齢者宅を訪問して啓発を進めると必要かつ重要な予算が計上されている。

## 請願及び陳情の提出方法

市議会は、市政等に対する皆様の要望を「請願」や「陳情」としていつでも受け付けています。9月定例会では、8月30日までに提出された請願・陳情を審査します。

### ◎請願

市議会議員の紹介が必要です。議会に出された請願は、所管の委員会に付託の上、審査されたのち、本会議で採択・不採択が決められます。採択された請願は関係者(市長、その他関係機関等)に送付します。

### ◎陳情

市議会議員の紹介は必要ありません。市議会における審議等の扱いは、請願と同様です。

### ◎請願(陳情)の書き方

- ①題名
- ②紹介議員の署名(陳情書の場合は不要)
- ③請願(陳情)趣旨
- ④請願(陳情)事項
- ⑤提出年月日
- ⑥あて先(福生市議会議員)
- ⑦請願(陳情)者の住所、氏名、押印

※請願及び陳情は郵送ではなく持参してください。

〇〇に関する請願書(陳情書)

紹介議員 \_\_\_\_\_

請願(陳情)趣旨 \_\_\_\_\_

請願(陳情)事項

1. \_\_\_\_\_

2. \_\_\_\_\_

平成 年 月 日

福生市議会議員 \_\_\_\_\_ 様

請願(陳情)者 \_\_\_\_\_ 様

住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

◎

※陳情書には紹介議員の記載は不要です